

下関市立大学広報

SHIDAI

magazine 2011

公共マネジメント学科が スタートします!!



受験生のみなさんへのメッセージ

学長 荻野 喜弘

下関市立大学は規模の小さな単科大学で、ふれあいを大切にしています。教職員と学生との距離の近さ、学生のサークル活動の活発さは本学の大きな特色です。全国各地からの出身者や留学生が多く、下関に居ながら様々な学生たちと知り合うことができます。

本学は学生の「学ぶ力」を高めつつ、現代社会に適応しうる創造的で教養豊かな高度職業人の育成をめざしています。そのため、基礎・教養科目と専門科目のバランスある教育、少人数対話型教育、体験型の「生きた教育」など特徴ある教育を推進してきました。このような積み重ねの結果、本学は就職に強い「市大」という高い評価を得ています。

平成23年度には、新管理研究棟の完成、公共マネジメント学科の開設、文部科学省の支援をうけた就業力育成事業の展開など本学の教育内容は一層充実することになります。

将来に対する高い志をもった高校生諸君！

おいでませ！下関市立大学

2011年4月1日

発行

下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp>

キャリアセンターから2010年就活レポート

2010年度就職活動を振り返って

キャリアセンター長 上野 恵美



2010年度卒業予定者の内定率は、2011年3月10日現在で88.2%となっています。2008年秋のリーマンショック以降、縮小した新卒採用市場は未だ回復せず、今年度の就職戦線も非常に厳しい状況となりました。しかしながら、本学学生が、就職環境の厳しさを十分に認識し、積極的に就職活動を行ったこと、また、企業の本学卒業生および学生への高い評価に支えられたことにより、例年より内定率が低下したものの、非常に健闘した結果が得られたのではないかと思います。

本学学生の就職の特徴は、金融機関への内定率が高いことで、今年度も30.3%の学生が、金融機関に就職を決めています。続いて、商社・小売業21.5%、メーカー9.7%、そして公務8.6%となっています。

2010年度卒業生の主な就職先

■金融

日本政策金融公庫、(株)商工組合中央金庫、みずほフィナンシャルグループ、中央三井信託銀行(株)、(株)伊予銀行、(株)京都銀行、(株)西京銀行、(株)中国銀行、(株)山口銀行、西中国信用金庫、福岡ひびき信用金庫、日興コーディアル証券(株)、野村証券(株)、みずほ証券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、丸三証券(株)、住友生命保険相互会社、全国労働者共済生活協同組合連合会、日本生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、山口県農業信用基金協会、下関農業協同組合、郵便局(株) など

■卸・小売

(株)アステム、(株)エバルス、(株)片岡物産、コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)、サンエス(株)、(株)ジャクエツ、中国三菱電機販売(株)、ヤマエ久野(株)、ユアサ商事(株)、(株)イービーシー・マート、(株)コスモス薬品、(株)スズケン、生活協同組合コープこうべ、(株)ナフコ、(株)ハニーズ、(株)ドン・キホーテ、(株)ビックカメラ、(株)福岡三越 など

■製造

明石被服興業(株)、アストラゼネカ(株)、小野薬品工業(株)、大正製薬(株)、大日本住友製薬(株)、長州産業(株)、凸版印刷(株)、日亜化学工業(株)、バイエル薬品(株)、林兼産業(株)、福助工業(株)、山崎製パン(株)、湧永製薬(株) など

■公務

広島労働局(国家Ⅱ種)、福岡県庁、市役所(和泉市・下関市・周南市・福山市)、役場(東串良町・北広島町)、警察(石川県・大分県・岡山県・香川県・京都府・徳島県・広島県・長崎県・兵庫県・福岡県・山口県)、自衛隊(海上・陸上)、東京消防庁、下関市消防局 など



■その他の業種

フェニックスリゾート(株)、(株)プレナス、(株)ホテルオークラ神戸、(株)合同総研、社会保険下関厚生病院、日本赤十字社、(社)日本自動車連盟(JAF)、日本モーターポータ競走会、セキスイハイム中四国(株)、ミサワホーム中国(株)、(株)エイブル、(株)ANAエアサービス福岡、ANAロジスティックサービス(株)、関光汽船(株)、関西国際空港(株)、九州旅客鉄道(株)、山九(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本通運(株)、三井倉庫九州(株)、ヤマト運輸(株)、郵便事業(株)、(株)インフォテック朝日、(株)NTTドコモ、MUS情報システム(株)、(株)学情、日本放送協会(NHK) など

卒業生からのメッセージ

教員からのメッセージ



時には周囲を頼ることも大切です

国際商学科 笹江 梨紗 (特待生)

私は色々な方に支えてもらいこの4年間を過ごしてきました。高校までは学校が決めた時間割に沿って先生の指示に従えば良かったのが、大学からは全て自分で決めなければなりません。私も最初単位を取れるか心配で初めての一人暮らしにも不安を抱えていました。そんな時に支えてくれたのが家族、先生、先輩、友人など周囲の方々でした。大学4年間色々な事に悩み、心配すると思います。その時は1人で解決しようとせず周囲に頼ることも大切です。

大学は自由な時間が多く色々なことにチャレンジできる貴重な時間です。その時間を共有できる最高の仲間と最高の大学生活を送って欲しいです。



積極的に自分から行動を

経済学科 合澤 辰哉 (就職先：下関市役所)

大学4年間は高校までとは違い、自分のやりたいことが自由にできる事が大きな魅力だと思います。興味のある講義を受けることができるし、講義がない時間や休日は自分のしたいことに時間をかけることができます。私はサークル活動やアルバイト、友人と一日中共に過ごすなどをして、本当に充実した日々を送ることができました。

大学生活で重要なのは、いろいろなことに興味を持ち、自分から行動することです。そうすれば、様々な経験によって自分のための糧となるものを吸収し、人間としての成長もできると思います。

長いようで短い大学4年間。勉強にも遊びにも一生懸命に取り組んで、自分が満足できる大学生活を過ごしてください。



未来を切り拓く原動力

99年度国際商学科卒 光永 知亜里
(PricewaterhouseCoopers Aarata)

「活躍する自信があります。」

面接のこの一言で私の夢は叶い、Universum が発表した世界中で最も魅力的な企業第2位の会社に就職しました。そこに到達するまでの道のりには数々の試練があり、その時私の支えとなったのは、大学で出会った友人、そして恩師でした。下関市立大学は全国から学生が集まっており、先生との距離も近く、地域交流も盛んで、必ず人生の糧になる出会いがそこにあると思います。

高校生活に比べより主体性が求められます。それだけに自分を客観的に見つめられる貴重な4年間になることと思います。

大学という様々な人と出会える舞台上自分を磨き、どんな社会情勢でもゆるがない生き方を見つけ出してください。

大学で何を学んだのだろうか？

教授 叶堂 隆三



このコラムは、どうやら「大学で何を学ぶか」というテーマで綴るもののようで、「教員」として教育や学習のガイドをすることが求められているようです。でも、ふと思いがよぎります。遥かかなたの「先輩」としての体験を語ることもたまにはいいよね、ね、ね、と。

大学時代、私の周りにまともに授業に出ている学生はわずかで、授業の内容を卒業後も覚えている友人なども皆無でした。先生の雑談や2、3の用語を覚えていることを自慢する友人もいましたが、その程度です。私もその一人なのでエラそうには言えませんが……。

しかし、こうした連中の誰もが「大学に行ってよかった」「人生最高の場所だ」と言っているから不思議です。なぜなのでしょう。もし授業が大学生活のすべてであれば、こうした「可」山や「不可」山の遭難者の口から、大学生活を評価する発言は出ないはずですよ。

卒業生の大学評価は、大学が「制度」として提供している授業以外の「非制度」的な「ごった煮」に対してなのかもしれません。もちろん、ごった煮も大学の統制が効きにくいとはいえ大学の提供物です。しかし、あるいは、だから、学生は押し付けられた感覚を持たず、ごった煮の中から何かを選び、学び、身に付けて、その後の自分の人生の価値観や信条、人間関係などを形成しているのかもしれません。

大学で知的財産を蓄積しよう！

教授 島田 美智子



皆さんの将来の目標を着実に達成する、その「学び」の場が大学です。私たちは様々なルールの中で行動する能力が要求されます。ルールはそれを作った人の目的が反映されているものですが、私たちはそうしたルールに対応し、そのなかで最も良い選択をし、行動していかなければなりません。大学は、こうした社会におけるルールに関する基礎知識・方法論・問題解決能力を身につける場であると思います。それと同時に、将来の目標を見つける場・具体化する場でもあると思います。だからこそ、目的意識を持って大学時代を有意義に過ごすことがとても大切になるのです。大学で学ぶ専門的な授業は難解であるかもしれないけれど、一つひとつを大切に学んでいく努力が知的財産を蓄積することにつながっていくのです。それらが結びつくとき、書く力、分析する力、考える力、判断する力といった知識に裏付けられた問題解決能力が養われていくのです。多くの可能性を見出すことのできる大学時代をかけがえのない時間にするのは、皆さんの努力する姿勢にかかっています。私たち教員はそのお手伝いを積極的に心がけています。何事にも関心をもって共に勉強し、多くの知的財産を蓄積していきましょう。私の専門は会計学です。私たちの身の回りにあふれている会計情報・経済情報も会計的な考え方を身につけることでその見方や世界が広がっていきます。世の中に対して自分の考え方が自信を持って語れるようになるかもしれませんよ。

公共マネジメント学科の取り組み

下関市立大学 3 番目の学科として、公共マネジメント学科が、平成 23 年度からスタートします。新学科では、新入生を育てていくために、新しい取り組みを考えています。

第 1 は、チューター制度の導入です。新入生全員を、学科担当教員 10 名全員に割り振って、1 年生の時点から、教員との密接なコミュニケーションをとりながら指導していきます。現在、設けられているオフィスアワーをもっと身近にした取り組みと考えてもらえば良いでしょう。第 2 は、新入生オリエンテーション合宿の実施です。初年度は、キャリアセンターのキャリア GP の取り組みの一環として、5 月 21 日、22 日に、玄海青年の家で実施します。将来的には、学科独自の内容を盛り込みながら実施していく予定です。第 3 は、履修指導です。公共マネジメント学科は、他の 2 学科のようなコース制度がありません。その代わりに、「行政」「企業・非営利組織」「コミュニティ」の 3 つの分野を設け、その中から専門応用科目を計画的に選択することを指導していきます。第 4 は、平成 24 年度からの公共マネジメント特講の開講です。下関市役所提供の講座です。平成 23 年度は、公共マネジメント学科開設記念特別公開講座として、「20 年後の下関を考える」をテーマに、5 月 21 日、22 日の 2 日間に亘って実施されます。第 1 日は、中尾友昭下関市長の講演及び荻野喜弘学長との対談、第 2 日目は、河原明彦福祉部長と三木潤一農林水産部長の講義が予定されています。

今後、公共マネジメント学科では、学生を育てていくために、新たな取り組みを展開していく予定です。



新校舎を建設中です



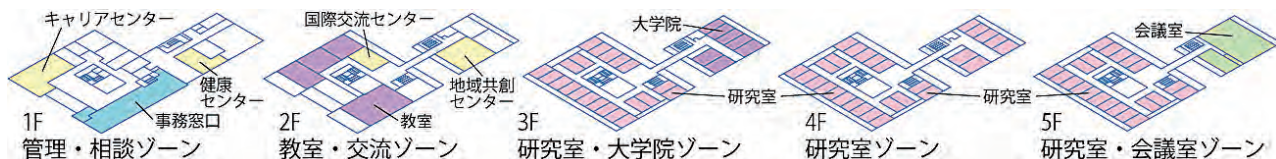
現在、今年秋の完成予定で、新校舎を建設しています。

5 階建ての各フロアは、それぞれゾーニングを明確にし、初めての人にも利用しやすい設計になっています。

1 階は、「管理・相談ゾーン」です。エントランスホールに面したオープンカウンター形式の事務窓口を設置し、来訪者の利便性を高めました。また、キャリアセンターと健康センターを設け、学生が気楽に相談できるようにしています。

2 階は、「教室・交流ゾーン」として、地域交流センターと国際交流センターがあり、地域と国内外の人々の活発なふれあいを目指しています。

3 階から上は、教員の研究室をメインに、大学院や会議室などを備えています。



大学を体験しよう!! 下関市立大学オープンキャンパス2011

下関市立大学では今年もオープンキャンパスを開催いたします。

実際にキャンパスを歩き、入試関係や学生生活など、疑問に思うことは教職員や学生に直接ぶつけられる良い機会です。皆様のご来訪をお待ちしています。

日程：7月23日(土)、8月7日(日)

時間：10:00～15:00(受付 9:30～)

全体説明会、模擬講義、大学語学入門、個別相談、学内施設ツアーなどを企画し、記念グッズ、無料ランチなども準備しています。

当日は、新下関駅、幡生駅より、無料送迎バスを運行します。

※詳細は事前に HP 等でご確認ください。

